

令和3年3月定例市議会の質疑・一般質問

3月8日(月) 午前10時～ 質問者順

① 泉雄太議員【よつ葉の会】

発言事項	内 容
<p>質疑1 第19号議案</p>	<p>令和3年度三木市一般会計予算</p> <p>(1) 広野自由が丘線都市計画決定変更事業</p> <p>ア 現状の周辺地域の交通状況に関する課題</p> <p>イ 県の都市計画道路神戸三木線と接続する事のメリット</p> <p>ウ 兵庫県との調整の状況</p> <p>エ 今後の事業化のスケジュール</p> <p>オ 必要に応じて都市計画変更を行うとされているが、その内容</p> <p>カ 用地先行取得の面積、物件補償の件数、予算総額の概算</p> <p>(2) 多頭飼育崩壊跡地の住生活環境整備事業</p> <p>ア 事業内容及び実施スケジュール</p> <p>(3) ひょうご情報公園都市の整備促進事業</p> <p>ア ひょうご情報公園都市の次期工区の面積及び開発スケジュール</p> <p>イ 整備に係る市負担の考え方と概算予算</p> <p>ウ 令和2年度予算における当該事業と比較してどのように変わったか</p>
<p>一般質問1 三木市の未来を見据えた施策と新型コロナウイルス対策について</p>	<p>(1) 当初予算ベースで18億円の基金取り崩しとなり、このままでは数年で基金が枯渇する状況だが、三木市の財政の問題点</p> <p>(2) 継続事業について、行政評価と連動した予算編成、事業の棚卸しができているのか</p> <p>(3) 財政が厳しい中で、未来を見据えた事業の選択と集中をどのように行っていくのか</p> <p>(4) 新型コロナウイルス対策地方創生臨時交付金の使途について、令和2年度補正予算(第10号)及び令和3年度予算では、市民や事業者に対する幅広い支援となっていない。今後の経済対策の必要性</p> <p>(5) 公共施設の再配置方針に基づき、公共施設の維持費を削減し、民間活力を導入していく必要性</p> <p>(6) AIやICTの活用により、電子申請等を増やし、市民が来庁せずに行政手続きを受けられる体制を整備することで、業務の省力化の推進することに繋がると考えるが、今後、更なる研究開発投資を促進すること</p>
<p>一般質問2 民間活力の活用に向けた都市計画の策定について</p>	<p>(1) 都市計画の基となる土地利用計画の更新</p> <p>(2) 今後の三木市の産業(商業、工業)活性化のため、開発地域を定める都市計画の変更などは考えられているのか</p> <p>(3) 特別指定区域制度の未導入区域への導入促進及び、沿道施設集約誘導等区域の導入</p> <p>(4) 公共施設の再配置計画の推進によって生じる空き地の活用に向けた取組</p> <p>(5) 市の将来ビジョンを描く都市計画部門の設置</p>

一般質問3 新型コロナワクチン 接種について	(1) 国の方針が二転三転する中、実施主体である市として、迅速かつ柔軟な対応ができる体制構築ができてきているか (2) ワクチン接種のシミュレーションについての先進事例の研究と実施の予定 (3) 今後、段階的にスタートしていく個別接種について、どのように周知及び管理を行っていくのか
------------------------------	---

② 岸本和也議員〔公政会〕

発言事項	内 容
質疑1 第19号議案	令和3年度三木市一般会計予算 (1) 新型コロナウイルスワクチン接種の推進 ア 今後のスケジュール イ ワクチン接種対策室における万全の態勢とは (2) 公共施設の再配置の推進 ア 三木市公共施設再配置計画の進捗状況 イ 吉川体育館・上の丸保育所取り壊しと計画との整合
一般質問1 施政方針について	(1) 4年間の実績 (2) 令和3年度事業の実現に向けて (3) 「年間5億の付加価値の創出」の内容 (4) 心の教育における教育委員会の方針 (5) 金物とインバウンド施策との連携、市内受け入れ態勢 (6) 金物業界における後継者の育成支援 (7) 山田錦振興係と農業政策係の役割の違い (8) 春高・春中ゴルフの更なる市民の巻き込み (9) 上田桑鳩寄贈作品の活用（展示場所）
一般質問2 子育て施策について	(1) 12月議会請願を受けて、育休退園制度の今後の対応 (2) 保育士の確保 (3) 産後ケア事業における助成対象者（項目と期間） (4) 子ども子育て支援アプリとして「母子モ」を選択した理由と周知方法・市民への登録推奨方法 (5) SNS等を活用した子育て支援を中心としたPR
一般質問3 消防団員について	(1) 団員報酬と出勤手当の現状 (2) 報酬や出勤手当に関して、地方交付税の算定基準との差

③ 松原久美子議員〔公明党〕

発言事項	内 容
質疑1 第19号議案	令和3年度三木市一般会計予算 (1) 新型コロナウイルスワクチンの接種の推進 ア コールセンターの設置 イ 個別接種の進捗状況 (2) 外国人児童・生徒へのサポートの充実 ア 外国人児童生徒初期指導補助員 (3) 三木市「クールチョイス」 ア 事業費500万円の詳細（具体的な取組内容） イ どのようにその結果を評価し成果とするのか (4) 地域防災計画の見直し

	ア 見直しの内容
一般質問1 施政方針について	(1) 4年間の市政の取組でどのような課題があるか、又それに対し今後どのように取り組んでいくのか (2) 市長は三木市のまちづくりは県や近隣市町との協調だと訴えてこられました、どのような取組をし、どのような成果を残せたのか
一般質問2 SDGsの取組について	(1) 三木市総合計画について、市の最上位計画としてどのようにSDGsへの取組を周知するか (2) SDGs未来都市への申請の検討について市の見解 (3) 第3次三木市環境総合計画(案)について、市民に身近で取り組みやすい環境についてのSDGsをどのように周知し取り組んでもらうのか (4) 第3期三木市教育振興計画についてSDGsの理念は盛り込まれているが、児童生徒に対してSDGs自体を学ぶ機会はあるのか
一般質問3 行政の男女共同参画について	(1) 内閣府が実施した「女性の活躍推進法に基づく取組等に関する調査」に未回答の理由 (2) 調査内容である、採用者に占める女性の割合、職員の女性割合、管理職の女性割合、男性の産休、男性と女性の育休取得率、残業の状況、年次休暇取得率(最新値)及び取組状況 (3) 行政においても男女共同参画の取組を加速化させ、意思決定の場に女性の視点が必要と思うが市の見解は
一般質問4 吉川地域におけるデマンド交通について	(1) 周知について、説明パンフレットの全戸配布についての見解 (2) 吉川町のワクチン集団接種会場において、接種後の待機場所でデマンド交通のパンフレットの閲覧や持ち帰りができるようにできないか (3) デマンド交通の改善のための住民や利用者の意見要望はどのように集約され反映されるのか

④ 大眉均議員【日本共産党】

発言事項	内 容
質疑1 第19号議案	令和3年度三木市一般会計予算 (1) 新型コロナワクチン接種 ア 接種の体制 イ 情報公開 (2) オンライン学習推進 ア オンライン授業の取組 イ 家庭での学習の取入れ ウ 環境の整備 エ 教職員の研修支援 (3) 吉川支所の再配置 ア テレワークスペースの設置 (4) 次期ごみ処理施設の整備 ア 施設整備基本構想の内容 イ 施設整備基本計画の内容 ウ PFI導入可能性調査 (5) ひょうご情報公園都市の整備の促進

	<p>ア これまでの取組と県の方針</p> <p>イ 三木市の負担</p>
<p><u>質疑 2</u></p> <p>第 20 号議案</p>	<p>令和 3 年度三木市国民健康保険特別会計予算</p> <p>(1) 令和 2 年度の決算見込</p> <p>(2) 令和 3 年度の会計見通し</p> <p>ア 新型コロナによる影響</p> <p>イ 県の運営方針に伴う影響</p>
<p><u>一般質問 1</u></p> <p>新型コロナウイルス 対策について</p>	<p>(1) PCR などの社会的検査の拡充</p> <p>ア 高齢者施設などでの定期的な検査の実施</p> <p>イ 感染者が出た場合の学校・高齢者施設などでの対応</p> <p>(2) コロナ禍のもとで生活に影響が出ている人に対する相談・支援</p> <p>ア 相談の件数・内容と支援の内容</p> <p>イ 生活保護の申請</p> <p>ウ 社会福祉協議会を通じた融資</p>
<p><u>一般質問 2</u></p> <p>農業の振興について</p>	<p>(1) 新しい農業のかたちの創出</p> <p>ア スマート農業の推進</p> <p>イ 農福連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 次産業化 ・ 女性農業者への支援 <p>(2) 山田錦の振興</p> <p>ア 令和 3 年の作付計画と支援</p>

令和3年3月定例市議会の質疑・一般質問

3月9日(火) 午前10時～ 質問者順

① 初田稔議員【よつ葉の会】

発言事項	内 容
<p><u>質疑1</u> 第19号議案</p>	<p>令和3年度三木市一般会計予算 (1) スマートインターチェンジの整備事業〔1億9,300万円〕 ア 市道加佐草加野線1億2,300万円 三木高校グラウンド北東側等一部工事は完了していると思われる ・令和3年度の整備工事の詳細 ・令和4年度以降の予定 イ スマートIC関連のうち、三木市管轄分(2,800万円)と、NE XCO受託分(4,200万円)の詳細 ウ 接続する市道岩宮大村線の道路拡幅工事の進捗状況と完了見込み エ スマートインターチェンジができる事による地域の活性化 (2) 郷土の文化・芸術の発信の強化事業〔328万円〕 ア 書道の大家であり、書道文化に大きな影響を与えた上田桑鳩氏の作品を孫の上田氏から寄附をしていただく事になった経緯 イ 事業費(328万円)の内訳 ウ 作品の収納場所とその環境 エ 作品の整理 オ 作品の市民への公開等、活用方針 カ 図録の総集編等の製作の考え方</p>
<p><u>一般質問1</u> 旧市街地の大規模火災予防対策について</p>	<p>(1) 人口が密着した本町、福井地区等で火災が発生した場合、大規模火災へと発展させない都市整備</p>
<p><u>一般質問2</u> 第2弾のプレミアムお買物券発行事業について</p>	<p>昨年、プレミアム付商店街お買物券発行事業が実施されたが、市民の方々から、大変わかりやすく、老若男女誰でも気軽に参加する事ができ、良かったとの意見も多く、又商業者からは新しい客も増え、売上増にもつながった等「売り手善し、買い手善し、世間善し」、三方善しの良い事業ではなかったかと考える (1) この事業の当局の評価 (2) 第2弾の実施予定があるのか</p>
<p><u>一般質問3</u> 酒米山田錦農家を元気にする政策について</p>	<p>(1) 令和3年度に、「山田錦振興係」を設置されるが、具体的な業務内容 (2) 三木産山田錦で醸造された酒の販売促進事業 (3) 昨年末に蔵元から20～30%の契約数量の減量の通知があり、各農家に通知されている。これは対前年比なのか、生産能力に対してなのか。又、金額に換算すると三木市全域の総額でどの位の減額になるのか (4) 農家が自発的に100%作った場合、残る20～30%の米の販売支援、協力についての考え</p>

② 板東聖悟議員〔日本共産党〕

発言事項	内 容
<p>質疑1 第19号議案</p>	<p>令和3年度三木市一般会計予算</p> <p>(1) 結婚新生活支援事業〔904万円〕</p> <p>ア 現行制度の内容と実績</p> <p>イ 要件改正で年齢39歳、世帯収入約540万円未満とした理由</p> <p>ウ 空き家バンク掲載の中古住宅を購入した場合は所得制限を設けなかったとした理由</p> <p>(2) 空き家バンク推進事業〔30万円〕</p> <p>ア 空き家バンクの登録数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録総数 ・売買と賃貸物件数 ・市街地エリアと自然豊かエリア数 ・成約数 ・登録事業者数 <p>イ 市内空き家認知件数</p> <p>ウ 市内不動産取扱い件数</p> <p>エ 空き家バンク掲載目標件数</p> <p>(3) 公民館整備事業〔3,140万円〕</p> <p>ア 中央公民館が他の公民館より劣化が進んでいるが、来年度の改修を見送る理由</p> <p>(4) 成人保健事業・若年者在宅ターミナルケア助成金〔32万4千円〕</p> <p>ア 市内のターミナルケアを必要としている人の把握</p> <p>イ 事業費（32万4千円）の根拠</p> <p>ウ 利用者負担の償還払いの理由</p> <p>エ 認定の方法</p> <p>オ サービス事業者</p> <p>カ 相談体制</p>
<p>一般質問1 市長の4年間の政治姿勢について</p>	<p>(1) 前市長との相違点と継承点</p> <p>(2) 縣市協調の総括</p>
<p>一般質問2 育休退園の廃止と待機児童の解消について</p>	<p>(1) 12月議会の請願採択後の教育委員会での議論</p> <p>(2) 令和3年度4月1日時点での入所申込数と入所決定者数、その前年度対比</p> <p>(3) 待機児童の解消に向けた令和3年度の新たな取組</p>
<p>一般質問3 公共施設再配置方針における中央公民館及び市民活動センター</p>	<p>(1) 再配置方針における両施設の方針</p> <p>(2) 両施設の目的と実際の役割</p> <p>(3) 両施設の利用者数</p> <p>(4) 両施設の複合化のメリット</p> <p>(5) 両施設の駐車場問題</p>

③ 加岳井茂議員〔三木新党〕

発言事項	内 容
<p>質疑1 第19号議案</p>	<p>令和3年度三木市一般会計予算</p> <p>(1) 農業振興事業（新しい農業のかたちの創出）</p> <p>ア 10年先に農業の継続ができる「営農の維持」「新規就労者への支</p>

	<p>援」策が掲げられているが、その展望と目標</p> <p>イ 新規就農者への支援対策と「すそ野（対象範囲）」を広げること</p> <p>(2) 地産地消推進事業（学校給食事業特別会計への繰出金）</p> <p>ア 地域農業の活性化と学校給食の充実のための地産地消の推進事業</p> <p>イ 学校給食事業特別会計への繰出金の支出負担行為（市場価格との差額補填の見積書、内訳書等の金額の確認方法等）</p>
<p><u>一般質問1</u></p> <p>吉川地区小・中学校統廃合に伴う学校施設等跡地の有効利活用の基本構想について</p>	<p>(1) 廃校跡地や校舎等の施設が、遊休跡地・施設にならないための有効的に利活用する基本構想（貸与、売却等を含）</p> <p>(2) 廃校跡地や校舎等施設の公営施設への転用利用（公民館、社会教育施設、社会体育施設）や、民間への貸与や譲渡等の利活用条件等について、学校区内の地元地区やPTAとの意見要望等の交換会</p> <p>(3) 廃校跡地や校舎等施設の有効利活用に対する国・県からの利用可能な補助金制度</p>
<p><u>一般質問2</u></p> <p>職員の人事異動（配置転換、昇格・昇進、出向等）について</p>	<p>(1) 三木市職員定数条例に定められた正規職員の標準的な、適材適所への人事異動の判断基準と在課年数</p> <p>(2) 定期的な人事異動に関して自己申告がなされた場合、その自己申告の評価と査定はどのように行われているのか</p> <p>(3) 女性の管理職への登用率と全体の女性職員の割合</p> <p>(4) 同一職場での長期在課職員の在課年数と、その解消策</p>
<p><u>一般質問3</u></p> <p>三木市住民票の写し等に係る本人通知制度（2012年(平成24年)10月1日施行）について</p>	<p>(1) 条例施行後の本人通知制度の事前登録者総数、及び登録者への通知件数、条例第5条2項に基づく通知件数（直近3年分）</p> <p>(2) 第三者に交付された「住民票の写し」や「戸籍謄本・抄本」の内、</p> <p>ア 個人の権利に対する侵害</p> <p>イ 不正請求の実態</p> <p>ウ 開示決定等に対する不服等（交付対象者、事前登録者）の審査請求</p> <p>(3) 住民票の写しや戸籍謄本の第三者請求で、個人の権利に対する侵害や不正取得防止対策の方法</p> <p>(4) 住民票の写し等に係る本人通知制度の事前登録者の増加対策と本人通知までの期間短縮</p>
<p><u>一般質問4</u></p> <p>新型コロナ禍によって「地域活動」等が自粛されている中で、高齢者の身体的・精神的・心理的・社会的なフレイル予防対策について</p>	<p>(1) 高齢者の生きがいである「老人クラブ」「バス旅行」「ふれあいサロン」「教養講座」等の活動自粛下におけるフレイル予防対策</p> <p>(2) 新型コロナ感染予防のための高齢者活動による不要不急等の外出自粛による「健康を維持する新しい生活様式」の取り入れと指導</p> <p>(3) 新型コロナ禍における「緊急事態宣言」が発出された不要不急の外出自粛下における、民生児童委員・協力委員の新たなフレイル予防活動</p>
<p><u>一般質問5</u></p> <p>乳幼児等医療助成制度について</p>	<p>(1) 乳幼児等医療助成制度（0歳～中学3年生まで）の入院・外来の一部負担金0円と同様に、18歳（高校3年生）までの入院・外来の一部負担金0円とする医療制度の創設</p>
<p><u>一般質問6</u></p> <p>花のあるまちと緑豊かな「都市景観形成」を図る「花の基地」活動構想について</p>	<p>(1) 花のあるまち「花の基地」づくり推進活動支援</p> <p>ア 現在の「花の基地」の所在地</p> <p>イ 緑化事業を委託している対象団体</p> <p>ウ 緑化事業活動団体への委託金とその基準</p> <p>(2) 地域ボランティア、老人会等の皆様によって展開されてきた「花</p>

	いっぱい運動」の原資である市民活動支援金が今月末で廃止となるが、廃止後の地域への活動支援対策
一般質問7 災害時等でも市民に安定した水道水供給のための原水確保、及び施設の維持管理について	(1) 市民へ安定した水道水供給のために欠かすことのできない、原水確保(自己水源、県営水源)の現状 (2) 原水確保の内で自己水源となる水源の所在地と内訳、及び自己水源による原水供給量の増加対策 (3) 市民へ安定した水道水供給のための施設の維持管理(耐震化、施設改善等)等
一般質問8 三木市火災予防条例中、住宅用防災機器の設置及び維持に関する基準等が2006年(平成18年)6月施行された後の防火対策について	(1) 住宅用火災警報器の設置により火災の初期発見、初期消火、延焼・類焼防止、避難等の救命に至った状況 (2) 住宅用火災警報器の電池寿命の目安は約10年とされており、定期的な作動確認が必要と思われるが、その確認の周知方法 (3) 住宅用火災警報器は火災から家族等の命を守るために設置されるが、同法には未設置者への罰則規定が無いために火災警報器の未設置者への設置指導はどのように行われているのか (4) 住宅用火災警報器や消火器等の訪問販売や詐欺事件等があったのか、又、あればその件数と対処方法
一般質問9 幼・小・中学校での新型コロナウイルス感染防止対策について	(1) 登下校及び授業(特に音楽時の発声、体育時の集団行動)での新型コロナウイルス感染防止対策 (2) 学校給食調理関係から学校への配送、校内での給食配膳、給食時における新型コロナウイルス感染防止対策 (3) 新型コロナウイルス感染防止対策に基づく「緊急事態宣言」発出後の、平常時と違った新しい生活様式に沿った「教育」「教育活動」が行われている中で、児童・生徒への「心のケア」はどのように行われているのか

③ 新井謙次議員〔志公〕

発言事項	内 容
質疑1 第19号議案	令和3年度三木市一般会計予算 (1) 酒米山田錦ブランド化推進事業〔80万円〕 ア 事業内容とその効果 イ S A K Eセレクション ウ 酒以外の山田錦製品 エ 山田錦製品の今後のブランド化事業
一般質問1 大規模災害(想定外の大災害)の避難所について	(1) 新型コロナウイルス禍前の避難所収容人数の算出方法 (2) 大災害時の想定避難者数の根拠 (3) 福祉避難所の受け入れ態勢 (4) 障がい者や乳幼児を持つ家族を対象とした福祉避難所の新設
一般質問2 地域再生計画(生涯活躍のまち構想)について	(1) 地域再生計画(生涯活躍のまち構想)の検証結果 (2) 生涯活躍のまち構想についての市の方針
一般質問3 第3次三木市環境総合計画について	(1) パブリックコメントの内容 (2) 2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す為のゴミの排出量、リサイクル率、資源の集団回収量の今後の施策

	(3) 子ども達への環境教育
一般質問4 自転車活用推進計画 とサイクルツーリズム 推進事業について	(1) 三木市自転車活用推進計画のパブリックコメントの内容 (2) サイクルツーリズムの事業内容、広報、今後の推進予定 (3) 三木市内の自転車関連事故の状況 (4) ライフステージに応じた交通安全教育の推進
一般質問5 学校へのタブレット 端末導入について	(1) 現在の導入状況と製品トラブルなどの対応 (2) 使用方法など教師からの改善点 (3) 保護者からの問い合わせ状況 (4) オンライン学習のためのWi-Fi環境等の整備

令和3年3月定例市議会の質疑・一般質問

3月11日(木) 午前10時～ 質問者順

① 大西秀樹議員〔志公〕

発言事項	内 容
質疑1 第19号議案	令和3年度三木市一般会計予算 (1) 基金（一般会計）の主な利用目的の現状と今後の運用（推移） (2) 外国人児童・生徒へのサポートの充実 (3) 若年者で余命わずかとなった方が穏やかに過ごすための医療・介護等の支援
一般質問1 農業政策について	(1) 人・農地プラン ア 人・農地プランの目的 イ 市内取組の現状及び課題 (2) 農地集積に関する事業 ア それぞれの事業及び仕組み イ 上記に対する支援内容 ウ 上記を活用することの主なメリット (3) 農業振興課内の組織体制 ア 組織の人員配置
一般質問2 志染保育所の環境対策について	(1) 教室内、床の危険な状況の推移及び対策 (2) 認定こども園では薬剤師の設置が義務付けされており、衛生面での検査が行われている。保育所での検査の現状

② 古田寛明議員〔走政クラブ〕

発言事項	内 容
質疑1 第6号議案	三木市立市民体育館等設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定 (1) 施設廃止に向けたスケジュール (2) 施設利用者への対応 (3) 跡地の活用予定
質疑2 第19号議案	令和3年度三木市一般会計予算 (1) 「クールチョイス」の推進〔500万円〕 ア 事業者（企業）を対象とした推進内容 イ 市民への啓発 ウ 行政が取り組む実践内容 (2) 新しい農業のかたちの創出（農福連携）〔58万円〕 ア 農福連携の進め方 イ 農福連携の実践例（三木市内及び周辺） ウ 国の支援策
一般質問1 高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画について	(1) 認知症施策の推進に向けた具体的な取組 (2) 介護予防の普及と啓発（フレイル予防など） (3) 市立デイサービスセンターの今後のあり方 (4) 介護保険料の引き下げと介護サービスの質の確保

<u>一般質問2</u> コロナ禍における学校教育の課題について	(1) 教育課程の工夫（学びの保障、各教科の指導内容など） (2) 規模縮小して体験学習を実施した効果 (3) 心のケアにおける取組体制と子どもの実態 (4) 教職員のメンタルヘルスへの配慮
-------------------------------------	--